

## 第54回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

### 1 日 時

平成23年4月14日 10時00分

### 2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

### 3 配布資料

第54回宮城県災害対策本部会議資料

### 4 議事要旨

#### ○若生災害対策副本部長

- ・村井災害対策本部長「東日本大震災復興構想会議」のため、東京に行っており欠席である。
- ・海水の放射能調査について、悪天候の為当初3ヶ所測予定だったのが実施できず鮎川沖1ヶ所で海水を採取し調査した。
- ・測定結果は放射性ヨウ素が1.4Bq/Lで原発の区域境界における限界測定値40Bq/L、食品衛生法上の乳児の規制値100Bq/Lを大きく下回っており、県としては全く問題なく安心できる数字と判断できる。海水の放射能濃度については、基準値がないので原発の区域境界数値の参考数値として掲載する。
- ・改めて来週以降調査を実施する。

#### ○小野寺危機管理監

- ・人的被害、死者が8,006人、行方不明者7,965人で行方不明者は、仙台市以外の市町村の数字である。
- ・都市ガス等については、資料のとおりである。

○今野総務部長

- ・特になし

○伊藤企画部長

- ・交通関係について、石巻線，小牛田前谷地間が4月17日運転再開の見込みである。
- ・陸羽東線，小牛田新庄間は4月16日運転再開見込みである。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原子力発電所事故に係るモニタリング結果について，ほぼ横ばいで減少傾向にある。

○岡部保健福祉部長

- ・震災孤児5名増加で総勢43名である。
- ・活動ボランティア総勢2,237人である。
- ・中央の「義援金配分割合決定委員会」から示された配分基準に基づき県の一次配分の配分額を決定する。

○経済商工観光部

- ・東日本大震災による内定取消者への県立高等技術専門校の追加募集を実施する。
- ・震災により被災し，要件に該当される場合は，受験手数料，入学金免除制度があるのでマスコミのPRをお願いしたい。

○農林水産部

- ・被害額について、資料のとおりである。

○橋本土木部長

- ・公営住宅65戸について、空き家修繕工事の予定が立ったことから、応急仮設住宅として所在市町への追加提供決定。

○自衛隊

- ・遺体28体収容した。

○竹内警察本部長

- ・収容総数8,225体、4月7日の余震分を除く、また、発災初期の収容を見直し、18体を追加計上した。
- ・13日の収容数48体と初めて50体を下回った。
- ・今後の推移によっては、収容所の見直しも検討しなければならない。
- ・遺族に6,979体、市町村に769体の引き渡しをした。

○海上保安庁

- ・潜水土により女川町で1体収容した。

○東北電力(株)

- ・停電戸数は91,294世帯で停電率約6%である。

○東北経済産業局長

- ・ガソリンスタンド稼働率89%である。
- ・レギュラーガソリン価格156.5円と価格が落ち着いてきた。

○小林教育長

- ・志津川高校分行方不明者89名確認済み。
- ・被害額1,000億円を超えた。
- ・年度始めの行事予定については、資料のとおりである。

○伊藤企業局長

- ・工業用水関連事務所73件中51件送水可能である。
- ・泉パークタウンの被害のダメージが大きい。

○村井災害対策本部長

次回は4月15日10時00分に開催する。